

# 神海丸通信

最後の操業  
千秋楽

No.6

操業開始から約2週が経過した日本時間2月14日、ついに最後の操業日「千秋楽」を迎えました。時間の流れをとても早く感じた操業期間となりました。「野鳥が大変だったけど楽しかった」「完璧な仕事を目指した」「船員さんの仕事ぶりがカッコよく、自分もそうなりたかった」「周りを見て行動できるようになった」「ずっと意識（集中）して作業するのが大変だった」「この乗船で専攻科に行きたいと思った」「水高に入学して良かった」「船員さん達はやりがいを持って仕事をしていると思った」など様々な感想がありました。「船員さん達の実際に働く姿を見たことにより、勤労に対する気持ちに変化が多かったようです。高校を卒業し、社会人として働く生徒達にとって神海丸乗船実習はとても良い経験になっています。



**謎の生物・訪問者!?** ある日の揚げ縄中、いつものようにコバンザメがフイにくっついて揚がってきました。するとその姿は真っ白! 稚魚? 変異? よく分かりませんが不思議なコバンザメでした。そして、海からだけではなく空からも訪問者がいます。それは鳥(カツオ鳥など)です。太平洋をず〜と飛んでいる鳥たちも、羽休めの場所を探しています。ようやく休めたその場所が神海丸だったということです。疲れ果てており、飛んで逃げるのができないので写真のように簡単に記念撮影ができます。神海丸ではこういった不思議な出会いもあります。



2月10日は「海の安全を祈る日」、えひめ丸の事故から20年以上経過しています。世界の海の安全・平和と犠牲になられた方々へのご冥福を祈り、全乗組員で黙禱を行いました。また、2月14日は、ある先生から愛のこもったチョコレートのプレゼントがありました。思わぬプレゼントに生徒達は大喜び!!。ありがとうございました!